

は總て道路境界線より三十呎引き込めて建造して置けば道路が百呎に擴められても、家屋の前には尙十呎づゝの前庭有するので、成る可く豫め適當の建築線を設置して、家主の損害を少くする様に勵行してゐる。

上記の幅員には電車線を含んで居ないから電車併用の場合は軌道敷の幅を加算すべきであるが、近來の傾向は電車線は車道自體より離して別に設置すべきものであると云ふ意見が盛になつて來てゐる。

以上は一等道路を直ちに六十呎に擴張せよ、若しくは特殊の場合にも之より、尙大なる幅員を必要とせないと云ふ意味ではない、單に現在の道路に改良を加へるとき、或は都市計劃の參考材料として提供せられた原則に過ぎないのである。

◎宮崎便り

宮崎縣廳にて
宇 高 生

拜啓、目下嚴寒の季節に御座候へども、當地方は南國の難有さに氣温の零度下に相成り候ことは極めて稀にして、毎日大抵七、八度乃至十三、四度の間を上下致し居り、北國の吹

雪の噂を他所に心安き暖國の冬の日を送り居申候。たゞ西に聳ゆる高千穂の秀峰のみはさすがに皚白の雪を頂きて冬らしく、時に膚を刺すが如き寒風を下界に送り申候、豫て御報告に預り居候本縣の路政と豫算に付ては何時も氣に懸り居候へども、縣會開會中は例の行政財政の整理緊縮てう中央に於ける颯風の餘波を受けて編成せられたる豫算のことゝて、縣會の質問に對する準備其他種々の雜務に多忙を極め候爲、閉會後にと思ひ居候折柄、突如課長の更迭に遭ひ、匆々の間に十三年を送ることゝ相成り候て遂に其意を果し得ず、新昨を迎へて早々十三日には、縣が二十九萬圓を投じて修築致候油津漁港の竣功式を學け、續いて十七日には港灣協會の宣傳隊を迎へて講演會、活動寫真會を催す等港灣改良の宣傳に没頭するの已むなき事情有之、通信義務の履行も荏苒今日に及び候様の次第、決して重大なる路政を忽緒に附したる義には無之候間御許し被下度、本縣土木に關する豫算も緊縮方針に崇られ、極めて平々凡々たるものと成り了り申候、乍去茲に特筆すべき一事は、例の本縣道路繼續費計畫の廢止に有之候、本計畫は御承知の如く大正十年度より二十四年度迄十五ヶ年毎年約三十萬圓宛總額四百萬圓を支出して、府縣道九路線の新設及三路線の改築竝に九橋梁の新架設を爲すものに有之、これ

が財源としては起債及一般縣歳入を以て之に充つるの外夫役、寄附金及道路法第三十九條の受益者負擔金を以て支辨すること、相成り居候得共、第一、本計畫は戦後好況時に成立したるものにして、今日の如き不況時には地元の負擔力減退し、其收入豫定の計畫を以てしては實行困難なるに至りしこと、第二、財政緊縮の方針にて、本計畫の起債は既に十三年度より認可を得るに至らず、計畫の實行不可能なるに至りしこと、第三、本計畫に依る道路橋梁の構造は不充分にして時代の進運に伴はず、更に工費を増額するにあらざれば實行不可能となりしこと等諸種の理由に依り、既に約四分の一額を費して工程を進め來れる本計畫は、其の行懸りの工事は之を臨時部土木費に移し繼續計畫を廢止したる次第に有之候本件廢止案に對しては随分縣會に於て八釜敷く論議せられ候へども、結局在來の計畫を持續するは消極的にして之が廢止は即ち新生面を打開する積極策なりとする知事の説明に始終したる次第に有之候、茲に於て吾れ、本縣の路政に従事致し候者はこの新生面打開の積極策なりとする知事の意見を一時の空語として終らしめざる様、愈緊揮一番生氣ある實質的道路計畫の樹立を急ぐべきことと相成候、之が辭立てに付ては昨今只管に考慮中に御座候、終りに土木關係十四年度豫算概要

を申上げ候は、

經常部土木費三十二萬二千圓中、道路橋梁費は二十一萬六千圓を占め、臨時部土木費二十二萬圓中、道路橋梁費は十四萬三千圓にして、市町村土木補助費一萬圓中、道路橋梁費に關係するものは五千九百圓を占め居る狀況に有之候

敬具

◎路上雜感(一)

路上に於て感想に耽つたり、ものを考へたりして居たら夫れこそ自動車突き衝てられたり、堀坑に屍を曝さなければならぬのは東京市の街路の現狀である、雨雪到れば泥濘の巷と化すと言ふが如き形容詞を以てしては不十分。

雨の日、ブル黨的乗用する自動車を通れば飛泥がプロ黨的頭の上から足の先まで遠慮會釋なしに襲つて來る、之には長靴黨も耐つたものでない、晴れの日には紅塵萬丈、沙漠に自動車を驅るが如きもの、小さな顔に眼鏡とマスクを掛けるのも亦餘儀ない、此間に生育する思想こそ、政府が恐るゝ煽動を俟たず湧起するのは當然。

源を革めずして自然に湧起するを抑制せむとするのは百年河清を俟つの類、法案の審議に日を送る位なら何故百尺竿頭一步を進めて、思想惡化の泉源たる惡路の改良に及ばざる。知るべし失業の救濟も亦是にて足ること。(七一ノ字)